

スキトレ企画書

作成日：2023年5月15日

校名：筑紫神社前校

企画者：山口

活動名：ペタンク	
本活動の着眼点	
座って実施できるアクティブな活動を考えた際に当てはまる内容だったため立案	
生活上の困り感 (実施者に確認して頂きたい内容)	目的・趣旨 (OT的視点)
<ul style="list-style-type: none">・人にぶつかる・その場その場の対応になる・個人活動ばかりでお友だちになじめない・自分に都合のいいルールを作る・勝ち負けへのこだわりが強い	<ul style="list-style-type: none">・空間把握能力を育む・計画性を学ぶ・集団活動への意欲を高める・ルールを守って仲間と協力する・気持ちを切り替える
作業の特色	
<ul style="list-style-type: none">・お友達と協力して楽しめる・力加減のコントロールを学ぶことができる・ボールの軌道など予後予測を立てて行うことができる・待っている児童も応援、観戦して楽しむことができる・投球数を変えることで時間の調整が行える	
活動の概要	
【場所】 活動部屋 【所要時間】 約30分～40分程度 【人数】 10人(チーム対抗のため二チーム以上に分ける) 【主な対象児童】 <ul style="list-style-type: none">・距離感を測るのが難しい児童・計画して物事を行うのが苦手な児童・お友だちとうまくなじめない児童	【必要な道具】 <ul style="list-style-type: none">・ボール1人1個(10人であれば10個) ※チームで分けるので色が分かれている物 <ul style="list-style-type: none">・目標物(ボールと区別化できるもの)・箱 (片付け時に使用するため使ったボールが入る程度の大きさが望ましい)
活動の進め方	
【進行方法・ルール】 <ol style="list-style-type: none">1) 児童にミッションの声掛けを行う2) 児童が集まったらルールの説明を行う。ルールは下記内容にて実施 ①児童を二チーム以上(可能なら偶数)に分ける	

スキトレ企画書

- ②児童を順番に並べ、番が回ってきた児童は投げる場所に設置した椅子に座ってもらう
 - ③チームで交互にポインターに近い場所をめがけて球を投げて(転がして)もらう
 - ※ポインター、相手の球については球を当てて動かしてもよい
 - ④お互いのチーム全員が投げ終わったらポインターに近いボール数個を計測
 - ⑤ポインターに一番近かったボールを投げたチームの勝利
- 3) 使ったボールを用意した箱に片づけてもらい活動終了

【進行上の留意点】

- ・ルール説明後、実際にスタッフが実演して児童が視覚的に理解できるようにする
- ・強く投げってしまうと物や人に当たる危険性があるため転がす、もしくはアンダー
スローで優しく投げってもらう
- ・勝ち負けにこだわる児童がいるため、負けたチームも表彰してお互いに頑張ったことをほめる

【役割：進行、補助、計測係】※スタッフ三名以上いると望ましい

進行：ルールを説明し、活動をスムーズに行えるようにする

補助：児童の見守り、うまく行えない児童にやり方の助言などしてサポートする

計測係：全員が投げ終わった後、ポインターから近いボールと目標物の距離を計測して勝ったチームを発表する

スタッフの着目点

- ・目的を持って投げているか(狙いを定めているか)
- ・活動中にお友だちの邪魔になるような行動をしていないか
- ・負けたチームの児童が活動終了後に気持ちを切り替えられているか

活動を行う上での注意点

- ・児童がボールを人や物に向けて投げないように定期的な声掛けを行う
- ・勝ち負けにこだわる児童がいるため、負けたチームも表彰してお互いに頑張ったことをほめる

苦手意識のある児童への配慮点

- ・目標物との距離を近づけて実施する
- ・後ろにスタッフが付いて一緒に転がす

予算

- ・投げる球(カプセルに重りを入れたもの、お手玉)
 - お手玉 3 個入り：ダイソー 100 円
- ・ポインター(投げる球と区別化できるもの)
 - 例：ゴムボール、新聞紙ボールなど

計 100 円以上

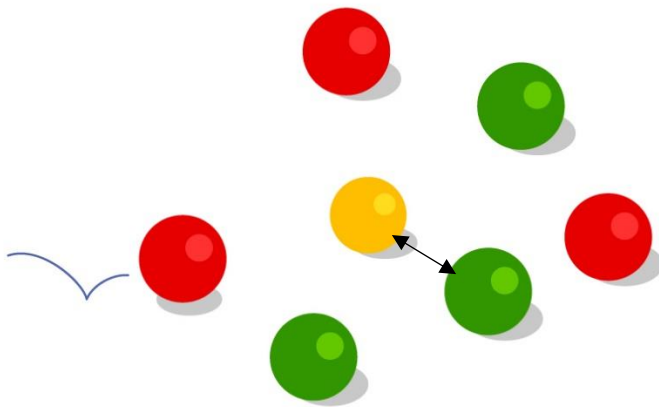
その他

スキトレ企画書



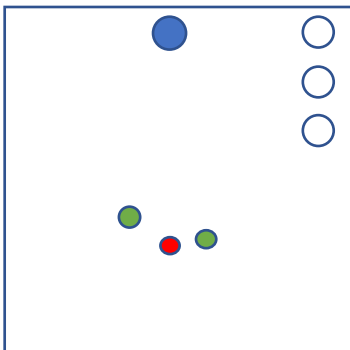
1人1球ずつ投げてもらおう

立って行っているイラストだが座った状態で実施



ポインター(黄色の球)に一番近いボールのチームが勝利

この場合は緑チームの勝利



待機児童は活動の妨げにならないように壁側に待機してもらおう